

第4章 教育・文化・スポーツ 第4節 社会教育

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			環境影響	
			会計	投入コスト(千円)		活動実績(H28)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	有益なもの	有害なもの	
社会教育課	実施計画ランク	事業の種類	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	子ども会活動の異年齢集団による様々な遊びや生活体験・自然体験は、子どもたちが協調性、自己決定能力などを獲得する効果が期待できる。その活動を支える子ども会育成会活動は、地域の人々が子どもの健全育成に携わることを主眼としており、地域の教育力の向上に寄与している。今後継続して事業を行い、どのような支援ができるかを検討していく。	H28年度に改善した点	無	無		
	優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	2,170千円	2,080千円	①「彩の国21世紀郷土かるた」所沢大会参加者数	子ども会会員数(子ども・育成者)	各校区の子ども会会員数								
	子ども会育成事業	根拠法令 社会教育法、所沢市校区子ども会育成交付金交付要綱、所沢市子ども会育成会連絡協議会補助金交付要綱	H28予算現額 2,170千円	H28決算額(見込み) 2,080千円	②5年生インリーダー研修参加者数										
	事業の具体的な内容及び目的	H27正規職員人件費 0.55人	H27その他職員 従事割合 0.15人	実績	H27年度目標 14,200人	H27実績 14,515人	H28目標値が未達成の理由・分析								
	様々な生活体験・自然体験の機会を充実させ、子どもたちの「生きる力」を育むため、子どもの自主性に基づく地域の子ども会活動の振興を図るために校区を単位に支援を行い、また各校区子ども会育成会の相互の連携・情報交換・研修及び広域的な事業を行いながら、各校区子ども会育成会を支援している所沢市子ども会育成会連絡協議会に対し、支援を行う。	H28正規職員人件費 0.52人	H28その他職員 従事割合 0.15人		H28年度目標 14,600人	H28実績 14,434人									
期間	昭和48年度～	H28臨時職員 0.00人	H28臨時職員 0.00人	①442人	H29年度目標 14,400人	H29実績									
実施計画ランク	事業の種類	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	市内のボーイスカウト2団及びガールスカウト2団はキャンプ等の野外活動の実施を中心に、市民文化フェアや市民フェスティバル等でも奉仕活動を行っている。また、公民館等で行われる地区文化祭にも積極的に参加している。地域のコミュニティ機能が容れ、地域の教育力低下が指摘されていることから地域の中でボーイスカウト、ガールスカウトの活動意義は大きく、今後も必要な助成を継続していく必要がある。	H28年度に改善した点	無	無			
重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	180	180	①部隊数	年間事業数(1年間に実施した事業数の合計)	自然・社会体験学習や異年齢交流の場としての事業が活発に行われることを期待し、活動を支援しているため、年間事業数を指標とする。									
青少年団体活動助成事業	根拠法令 社会教育法、ボーイスカウト補助金交付要綱、ガールスカウト補助金交付要綱	H28予算現額 180	H28決算額(見込み) 180	②団員加入人数											
事業の目的及び具体的な内容	H27正規職員人件費 0.02人	H27その他職員 従事割合 0.00人	実績	H27年度目標 350	H27実績 324	H28目標値が未達成の理由・分析									
市内のボーイスカウト2団及びガールスカウト2団に補助金を交付することにより、自然・社会体験学習や異年齢交流の場としての事業が活発に行われることを期待し、その活動を支援する。	H28正規職員人件費 0.02人	H28その他職員 従事割合 0.00人		H28年度目標 337	H28実績 351										
期間	S50年度～	H28臨時職員 0.00人	H28臨時職員 0.00人	①18部隊	H29年度目標	H29実績									
実施計画ランク	事業の種類	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	PTA活動の大切さをより多くの人に知ってもらおうという考えのもと、PTA連合会の主要事業である教育講演会の参加人数を指標とする。	H28年度に改善した点	無	無			
重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	630	630	①会報発行部数(PTA)	教育講演会参加者数(PTA)	PTA活動の大切さをより多くの人に知ってもらおうという考えのもと、PTA連合会の主要事業である教育講演会の参加人数を指標とする。									
社会教育関係団体補助事業	根拠法令 社会教育法、所沢市PTA連合会補助金交付要綱、所沢市連合婦人会補助金交付要綱	H28予算現額 630	H28決算額(見込み) 630	②活動回数(連合婦人会)											
事業の目的及び具体的な内容	H27正規職員人件費 0.16人	H27その他職員 従事割合 0.85人	実績	H27年度目標 200人	H27実績 450人	H28目標値が未達成の理由・分析									
(PTA)子どもたちの心豊かな健全育成を図るPTA活動の理解を深めるために、市内小中学校及び県立特別支援学校の各学校単位PTAの相互交流・連携・情報交換を活発にし、研修等を通してその活動への理解が深まり、活性化するように補助金を交付し支援する。昭和26年4月発足。(連合婦人会)以前は、女性の地位向上のために、女性の社会進出や男女平等を目指した学習活動を行っていた。現在は主に生涯学習の推進、社会教育の振興及び男女共同参画などに貢献している活動が顕著であり、これらの活動に対し、補助金を交付し支援している。	H28正規職員人件費 0.16人	H28その他職員 従事割合 0.85人		H28年度目標 200人	H28実績 180人										
期間	S39～	H28臨時職員 0.00人	H28臨時職員 0.00人	①47,000部	H29年度目標 200人	H29実績									
実施計画ランク	事業の種類	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		S	成果指標の目標値を毎年達成している。多くの人数を受け入れるためにも、今後も安全面に細心の注意を払いながら、中学生・高校生・大学生リーダーの育成と指導に団体で取り組んでいく必要がある。	H28年度に改善した点	無	無			
重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	360	360	①小学5・6年生参加者数	定員に対する参加率(参加者数/定員×100)	より多くの人に参加してもらうため、参加率を指標としている。									
サマースクール助成事業	根拠法令 社会教育法、所沢サマースクール実行委員会補助金交付要綱	H28予算現額 360	H28決算額(見込み) 360	②中・高・大学生リーダー参加者数											
事業の目的及び具体的な内容	H27正規職員人件費 0.15人	H27その他職員 従事割合 0.00人	実績	H27年度目標 100	H27実績 102	H28目標値が未達成の理由・分析									
豊かな自然環境の中で夏休みに6泊7日の長期宿泊の集団生活を通して、子どもたちの豊かな感性と自立心を養い社会性を身に付けることを目的とする。また、所沢サマースクールを支援することにより、中学生・高校生・大学生リーダーを育成し地域の教育力の向上を図る。	H28正規職員人件費 0.21人	H28その他職員 従事割合 0.00人		H28年度目標 100	H28実績 140										
期間	S59～	H28臨時職員 0.00人	H28臨時職員 0.00人	①98人	H29年度目標 100	H29実績									

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			環境影響	
			会計	投入コスト(千円)		活動実績(H28)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	有益なもの	有害なもの	
社会教育課	実施計画ランク	事業の種類	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		S	子どもの健全育成のために家庭教育を学ぶ学習の場を提供し、学校・保護者・地域のコミュニティ形成と家庭における教育力の向上を図るため継続を必要とする。	H28年度に改善した点	無	無		
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	5,981	5,874	①小中学校学級生数	1学級あたりの講座実施時間数	家庭教育学級事業委託要綱								
	根拠法令	H28予算現額	H28決算額(見込み)	②講座数											
	家庭教育推進事業	教育基本法、社会教育法、家庭教育学級開設委託要綱	5,981	5,884	③啓発リーフレット配布数	H27年度目標	H27実績	H28目標値が未達成の理由・分析							
	事業の目的及び具体的な内容	H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合	実績	H28年度目標	H28実績	目標達成済								
	家庭教育等について学ぶ機会を保護者等に提供するため家庭教育学級を実施する。保護者が家庭を見直し、子育てに自信を持って取り組むきっかけとするために、就学時健診等の機会を利用した子育て講座を実施したり、啓発リーフレットを作成して配布する。	0.55人	1.70人	①3,119人	18	17.9									
期間	H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合	②385回	18	18.3										
昭和39年度～	0.55人	1.70人	③6,600部	H29年度目標											
		4,763千円	0.00人		18										
		4,716千円	0.00人												
社会教育課	実施計画ランク	事業の種類	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	各地区ごとに“つどい”を開催することにより、地域の人たちが新成人を大人として地域に受け入れる式としている。所沢市の新成人の門出を祝福するとともに、21世紀の担い手としての活躍を期待し、ふるさと所沢への愛着を深めることを目的とし、各公民館を中心に市内11行政区ごとに組織された「所沢市〇〇地区成人のつどい実行委員会」による分散方式で実施する。式典(各地区共通)と各地区で工夫したパーティ等のつどいを開催する。	H28年度に改善した点	無	無		
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	4,408	4,362	①出席者数	市全体の出席者数(出席者/対象者×100)	より多くの人に参加してもらうため、出席率を指標としている。								
	根拠法令	H28予算現額	H28決算額(見込み)	H27年度目標	H27実績										
	成人のつどい開催事業	国民の祝日に関する法律 成人のつどい実行委員会交付金交付要綱	4,408	4,362	実績	H28目標値が未達成の理由・分析	H28目標値が未達成の理由・分析								
	事業の目的及び具体的な内容	H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合	①2,342	72	69	毎年、対象者が変わるので、出席率は流動的である。成人式についての更なるPRが必要である。								
	地域社会の中で新成人の門出を祝福するとともに、成人としての自覚を促し21世紀の担い手としての活躍を期待し、ふるさと所沢への愛着を深めることを目的とし、各公民館を中心に市内11行政区ごとに組織された「所沢市〇〇地区成人のつどい実行委員会」による分散方式で実施する。式典(各地区共通)と各地区で工夫したパーティ等のつどいを開催する。	0.25人	0.00人	H28年度目標	H28実績										
期間	H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合	H29年度目標	H29実績											
S21～	0.25人	0.00人	72	67											
		2,165千円	0.00人												
		2,144千円	0.00人												
社会教育課	実施計画ランク	事業の種類	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		S	様々な体験を通じて「生きる力」を育む子ども会活動はさらに重要になっており、活動を支えるリーダーや育成者を養成する研修会は大きな役割を担っていると言える。	H28年度に改善した点	無	無		
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	261千円	187千円	①5年生インリーダー研修会参加者数	5年生インリーダー研修会の満足度	参加者へのアンケート(研修会に参加して良かったと回答した人の割合)								
	根拠法令	H28予算現額	H28決算額(見込み)	H27年度目標	H27実績										
	青少年教育地域指導者研修事業	社会教育法	261千円	187千円	実績	H28目標値が未達成の理由・分析	H28目標値が未達成の理由・分析								
	事業の目的及び具体的な内容	H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合	①53人	100%	82%	目標達成済								
	市内小学校5・6年生を対象とした「5年生・6年生インリーダー研修会」、中学生・高校生を対象とした「ジュニアリーダー養成講座」、育成者を対象とした「子ども会育成者研修会」を行っている。	0.15人	0.00人	②641人	H28年度目標	H28実績									
期間	H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合	H29年度目標	H29実績											
昭和52年度～	0.13人	0.00人	98%	98%											
		1,299千円	0.00人												
		1,115千円	0.00人												
社会教育課	実施計画ランク	事業の種類	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		S	市民参加の実行委員会が中心となり、子どもたちの表現活動や社会教育体験活動を事業を幅広く開催しており、成果指標の目標値を毎年達成している。学校教育の枠を超えて、子どもたちが自分たちの感性を伸ばせる場をより多く提供できるよう、引き続き支援していく。	H28年度に改善した点	無	無		
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	3,067	3,055	①開催日数	参加者率(参加者数/市内児童・生徒数×100)	より多くの子どもたちの成長を促すため、参加率を指標としている。目標値としては、前年より増やすことを目標とした。								
	根拠法令	H28予算現額	H28決算額(見込み)	H27年度目標	H27実績										
	所沢子どもルネサンス開催支援事業	社会教育法、所沢子どもルネサンス実行委員会補助金交付要綱	3,067	3,037	実績	H28目標値が未達成の理由・分析	H28目標値が未達成の理由・分析								
	事業の目的及び具体的な内容	H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合	①39日	25	27	目標達成済								
	子どもたちの感性や表現力を養う文芸、イラスト、合唱等の各種事業を実行委員会の主催で開催し、青少年教育の振興を図ることを目的とし、年間を通じて各プロジェクトの開催支援や補助金の交付、開催報告書の作成等を行う。	0.47人	0.00人	②3218人	H28年度目標	H28実績									
期間	H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合	H29年度目標	H29実績											
H2年度～	0.49人	0.00人	③7,288人	27	29										
		4,070千円	0.00人												
		4,202千円	0.00人												

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果			評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			環境影響						
			会計	投入コスト(千円)		活動実績(H28)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題		有益なもの	有害なもの			
松井まづくりセンター	実施計画ランク	事業の種類	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		C	施設を改善したことにより、多くの市民が安全で安心して施設利用できるようになった。	H28年度に改善した点		無	無				
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	27,523	28,025	①年間利用可能区分数(公民館)	年間施設稼働率	利用者確保のため、施設修繕や安全点検を充実させる。	H27年度目標			H28年度目標	H28年度実績			80%	56%		
	根拠法令	社会教育法・所沢市立公民館設置及び管理条例施行規則	H28予算現額	H28決算額(見込み)	②年間延べ利用区分数			26,468									26,344	H27実績
	松井公民館施設提供事業	事業の目的及び具体的な内容	H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合	③	H27年度目標	H27実績	H28目標値が未達成の理由・分析			H28年度目標	H28実績			80%	56%	サークル加入者の高齢化等を理由に、登録を廃止するサークルが増え、利用実績が減少し目標値に達しなかった。また、当センターには茶道専用の茶室があり一年をとおして利用者が極端に少ないのも目標値に達しない大きな理由と思われる。	
	期間	S45～	0.55人	0.00人	実績	H28年度目標	H28実績	H29年度目標			H29年度実績	80%			48%			
		サークルによる各種学習活動の場として施設を提供することによって、住民の知識・教養の向上を図り、生涯学習社会の構築を目指すことを目的とする。施設利用申請にあたっては窓口申請以外にも、公共施設案内・予約システムを導入し、端末やインターネットによる予約が可能になっている。さらに予約システムを再構築し、携帯電話からの予約手続きを可能とするなど、迅速化、効率化を図った。また、利用予約の際は、利用機会の拡大を図るため一定の利用制限を(時間制限)を設けている。	4,763千円	3.20人	①25,463			H29年度目標		H29年度実績	80%							
			H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合	②12,194			H29年度目標		H29年度実績	80%							
			0.55人	0.00人	③			H29年度目標		H29年度実績	80%							
			4,716千円	3.20人				H29年度目標		H29年度実績	80%							
富岡まづくりセンター	実施計画ランク	事業の種類	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	事業参加者の全てが満足いく事業が行えなかったが、昨年度に比べ満足度が高くなっているため、引き続きアンケート調査を行い、利用者の満足できるような事業を実施していく。	H28年度に改善した点		有	無				
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	3,363	3,353	①主催事業数(年間事業数)	参加者の満足度割合 (「満足」及び「ある程度満足」と回答を得た件数÷アンケート回答件数×100)	社会教育法により、多様な需要を踏まえ、これに適切に対応するために必要な学習の機会の提供及びその奨励を行うことにより、生涯学習の振興に寄与することが目的のため、どれだけ参加者が満足した事業を提供できたかを図る。	H27年度目標			H27年度実績	100%			89%			
	根拠法令	社会教育法・所沢市公民館設置及び管理条例・所沢市公民館設置及び管理条例施行規則・所沢地区体育館条例	H28予算現額	H28決算額(見込み)	②事業参加者に対するアンケートの実施(アンケート回答件数)			2,738								2,636	H28目標値が未達成の理由・分析	
	公民館主催事業	事業の目的及び具体的な内容	H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合	③アンケート結果の分析(「満足」及び「ある程度満足」と回答を得た件数)	H27年度目標	H27実績	H28目標値が未達成の理由・分析			H28年度目標	H28実績			100%	93%	目標未達成 新規事業も開催したが、利用者の求めるものに答えられなかった。	
	期間	S31年度～	0.93人	0.50人	実績	H29年度目標	H29年度実績	H29年度目標			H29年度実績	100%						
		市民の学習要求に基づき、教養の向上・健康の増進・生活文化の振興・社会福祉の増進を図るため、実際の生活に即する教育・学術及び文化に関する各種の事業を実施することを目的に、①職員サイドによる企画立案、あるいは市民を交えた企画準備委員会・実行委員会等を設置し、事業内容を検討。生涯学習情報紙及び公民館だよりを活用して参加者を募集する。②事業終了後は、学習の記録や参加者の意見・感想等を取りまとめ、次年度へ向けての検討材料とする。③体育館が併設されている特徴を活かし、健康体操教室や体育事業にも積極的に取り組んでいる。	8,054千円	1.60人	①41事業			H29年度目標		H29年度実績	100%							
			H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合	②537件			H29年度目標		H29年度実績	100%							
			0.63人	0.45人	③497件			H29年度目標		H29年度実績	100%							
			5,402千円	1.20人				H29年度目標		H29年度実績	100%							
富岡まづくりセンター	実施計画ランク	事業の種類	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		C	利用者が高齢化に伴い、団体登録しているサークル数が減ってきていることもあり、施設の利用率が上がらなかった。今後は、より利用しやすい施設の仕組みづくりが必要と考える。	H28年度に改善した点		無	無				
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	26,626	25,236	①年間利用可能区分数(公民館)	年間施設稼働率(公民館) (年間延べ利用区分数÷年間利用可能区分数×100)	公民館施設は住民の生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することが目的のため、施設がどれだけ住民に利用されているかを図る。	H27年度目標			H27年度実績	80%			24%			
	根拠法令	社会教育法、所沢市立公民館設置及び管理条例、所沢市公民館設置及び管理条例施行規則、所沢市地区体育館条例	H28予算現額	H28決算額(見込み)	②年間利用区分数(公民館)			25,540								23,067	H28目標値が未達成の理由・分析	
	公民館施設提供事業	事業の目的及び具体的な内容	H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合	③年間利用区分数(地区体育館)	H27年度目標	H27実績	H28目標値が未達成の理由・分析			H28年度目標	H28年度実績			80%	23%	目標未達成 利用サークル数が減ってきていることもあり、部屋の利用率が上がらなかった。	
	期間	S45年度～	0.43人	0.30人	実績	H29年度目標	H29年度実績	H29年度目標			H29年度実績	80%						
		集団による各種学習活動の場として施設を適用することにより、住民の知識・教養の向上を図り、生涯学習社会・地域社会の構築することを目的とし、公民館事業に支障のない範囲で、地域・学校・社会教育関係団体等に施設提供を行っている。利用申請方法は、窓口申請・予約システム・端末・インターネットによる予約手続きが可能となっている。また、利用予約の拡大を図るため、一定の利用制限(時間制限)を設けている。なお、本公民館の提供する部屋数は、多目的ホールをはじめ11部屋となっている。	3,724千円	2.10人	①25,466区分			H29年度目標		H29年度実績	80%							
			H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合	②5,780区分			H29年度目標		H29年度実績	80%							
			0.50人	0.25人	③19,541区分			H29年度目標		H29年度実績	80%							
			4,288千円	1.65人				H29年度目標		H29年度実績	80%							
小手指まづくりセンター	実施計画ランク	事業の種類	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	概ね目標値に達成しているものの、各事業個別ではバラつきも見られたことから、市民のニーズを把握しより多くの参加者の満足が得られる事業の実施を目指す必要がある。このため、市民を交えた企画準備委員会や実行委員会を積極的に活用し、より充実した事業を実施するように進めたい。	H28年度に改善した点		有	無				
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	6,837	6,682	①主催事業数	参加者の満足度割合 (「満足」及び「ある程度満足」と回答を得た件数÷アンケート回答件数×100)	「満足」及び「ある程度満足」と回答を得た件数÷アンケート回答件数×100	H27年度目標			H27年度実績	98%			98%			
	根拠法令	社会教育法	H28予算現額	H28決算額(見込み)	②事業参加者に対する5段階評価アンケートの実施			1,069								806	H28目標値が未達成の理由・分析	
	公民館主催事業	事業の目的及び具体的な内容	H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合	③アンケート結果の分析	H27年度目標	H27実績	H28目標値が未達成の理由・分析			H28年度目標	H28年度実績			98%	98%	各事業の参加者には、アンケートの提出を協力いただき、回収件数が昨年度までより大幅に増えたが、その分様々な意見が出たため、実績としては昨年度を下回った。	
	期間	S26年度～	1.65人	3.15人	実績	H29年度目標	H29年度実績	H29年度目標			H29年度実績	99%			92%			
		市民の学習要求に基づき、教養の向上、健康の増進、生活文化の振興、社会福祉の増進を図るため、実際の生活に即する教育・学術及び文化に関する各種事業を実施する。	14,289千円	3.15人	①46			H29年度目標		H29年度実績	99%							
		市民を交えた企画準備委員会及び実行委員会を設置し、事業の内容を検討する。広報紙などを利用し、参加者の募集を行う。事業終了後、学習の記録や参加者の意見・感想をまとめ、次年度へ向けての検討材料とする。	H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合	②499			H29年度目標		H29年度実績	99%							
			1.40人	2.55人	③461			H29年度目標		H29年度実績	99%							
			12,005千円	2.55人				H29年度目標		H29年度実績	99%							

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			環境影響	
			会計	投入コスト(千円)		活動実績(H28)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	有益なもの	有害なもの	
小手指まづくりセンター	実施計画ランク	事業の種類	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	市民の集団学習活動の場として、ある程度の目的達成は果たしているが、目標である施設稼働率は伸び悩んでいる。施設の設備、立地条件など様々な要因が考えられるが、予算の可能な範囲で設備のメンテナンスを行い、安心安産で快適に利用いただけるように施設の充実に努めるとともに、様々な情報発信を心掛ける。	H28年度に改善した点	無	無		
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	27,328	22,989	① 年間利用可能区分数(公民館)	年間施設稼働率(公民館)	年間延べ利用区分数÷年間利用可能区分数×100								
	公民館施設提供事業	根拠法令	H28予算現額	H28決算額(見込み)	② 年間利用区分数(公民館)		H27年度目標	H27実績						H28目標値が未達成の理由・分析	
		社会教育法、所沢市立公民館設置及び管理条例・同施行規則、所沢市地区体育館条例	26,600	21,555	③ 年間利用区分数(地区体育館)		H28年度目標	H28実績							
		事業の目的及び具体的な内容	H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合	実績		H29年度目標								
期間	昭和45年度～	集団による各種学習活動の場として施設を提供することによって、住民の知識・教養の向上を図り、生涯学習社会の構築を目指す。所沢市立公民館設置及び管理条例第5条に基づき、公民館事業に支障のない限りで自治会、PTAなどの市民集会や社会教育団体等の活動の場として、公民館施設を提供する。	0.90人	0.20人	①13,804区分	80%	50%	公民館登録団体の減少により公民館利用率が下がっている。また、未登録団体の利用も増えていない。	評価者 小手指まづくりセンター長 佐藤 真之	車での来館者が多く、駐車場が手狭なため、非常に込み合っていることが多い。公共交通機関での来館をより一層徹底するなど駐車場対策の検討が急務である。					
小手指まづくりセンター	実施計画ランク	事業の種類	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	市民の集団学習活動の場として、ある程度の目的達成は果たしているが、目標である施設稼働率は伸び悩んでいる。小手指公民館分館は立地条件は良いが、駐車場が狭く施設の老朽化が進むとともに、ホールが2室ある一方、小会議室のように6～7名でしか利用できない部屋があり、他の公民館と施設構成が異なることなど様々な要因が考えられる。予算の可能な範囲で設備のメンテナンスを行い、安心安産で快適に利用いただけるように施設の充実に努めるとともに、様々な情報発信を心掛ける。	H28年度に改善した点	無	無		
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	25,751	18,908	① 年間利用可能区分数(公民館)	年間施設稼働率(公民館)	年間延べ利用区分数÷年間利用可能区分数×100								
	小手指公民館分館施設提供事業	根拠法令	H28予算現額	H28決算額(見込み)	② 年間利用区分数(公民館)		H27年度目標	H27実績						H28目標値が未達成の理由・分析	
		社会教育法、所沢市立公民館設置及び管理条例・同施行規則、所沢市地区体育館条例	26,598	19,669	③		H28年度目標	H28実績							
		事業の目的及び具体的な内容	H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合	実績		H29年度目標								
期間	昭和60年度～	集団による各種学習活動の場として施設を提供することによって、住民の知識・教養の向上を図り、生涯学習社会の構築を目指す。所沢市立公民館設置及び管理条例第5条に基づき、公民館事業に支障のない限りで自治会、PTAなどの市民集会や社会教育団体等の活動の場として、公民館施設を提供する。	1.00人	0.30人	①15,776区分	80%	59%	ホール、音楽ホールが絨毯敷きのため、また小会議室1・2号が6～7名定員と手狭なため、使用用途が限定されてしまい利用率が伸びない。今後、改修等で使いやすい部屋にしていく必要がある。	評価者 小手指まづくりセンター長 佐藤 真之	正面玄関のタイルを補修して利用者の安全性を高めた。和室2部屋の畳表替えと障子張替えを行い利用者の利便性を高めた。トイレ紙巻器を交換して利用者の利便性を高めた。					
山口まづくりセンター	実施計画ランク	事業の種類	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	参加者のニーズを充足させようと努めているが事業内容を工夫し、参加者の興味を更にそそぐような事業を工夫していく必要がある。	H28年度に改善した点	有	無		
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	2,775	2,597	①年間事業回数	事業参加者の満足度(事業内容に対してプラス評価を得た件数÷アンケート件数×100)	参加者が充足感を得られているか確認するため、アンケートを実施し、プラス評価の割合が100%となることとした								
	公民館主催事業	根拠法令	H28予算現額	H28決算額(見込み)	②アンケート回答件数		H27年度目標	H27実績						H28目標値が未達成の理由・分析	
		社会教育法、市立公民館設置及び管理条例	2,570	2,252	③事業内容に対してプラス評価の回答を得た件数		H28年度目標	H28実績							
		事業の目的及び具体的な内容	H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合	実績		H29年度目標								
期間	S22～	目的 市民の学習要求に基づき各種講座を展開し、市民の知識教養の向上を図るとともに生涯学習社会の構築を目指す。内容 第4次所沢市生涯学習推進計画に基づき、重点的に取り組む事項に即した各種事業を展開していく。各種学級・講座・イベント・つどい事業を実施し系統的な学習機会と住民相互の交流の場を提供する。地域住民のさまざまな学習・文化・スポーツ活動を支援する。	0.61人	0.95人	①181回	100	94	参加者のニーズを完全には捉えきれていない。	評価者 山口まづくりセンター長 仲正之	サークルとの共催でフォークダンス教室事業を行った。					
山口まづくりセンター	実施計画ランク	事業の種類	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	施設運営において施設稼働率は最も客観的指標。成果目標は高めに設定していたが、29年度は少し下げた数値に設定。	H28年度に改善した点	無	無		
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	29,525	23,730	①年間利用可能コマ数	年間施設稼働率(年間使用コマ数÷年間利用可能コマ数×100)	施設運営において施設稼働率は最も客観的指標。成果目標は高めに設定していたが、29年度は少し下げた数値に設定。								
	公民館施設提供事業	根拠法令	H28予算現額	H28決算額(見込み)	②年間使用コマ数		H27年度目標	H27実績						H28目標値が未達成の理由・分析	
		社会教育法、市立公民館設置及び管理条例	23,632	22,304	③		H28年度目標	H28実績							
		事業の目的及び具体的な内容	H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合	実績		H29年度目標								
期間	S45～	目的 施設を提供することにより、住民の知識・教養の向上を図り、生涯学習社会の構築を目指す。内容 ①施設に加え、各種備品の貸出をしている。②公共施設予約システムを採用し、事務室窓口の他、ロビー端末やインターネットからも施設予約を受け付けている。③利用の予約にあたっては、利用機会の拡大と均衡を図るため一定の利用制限(時間的制限)を設けている。	0.65人	2.05人	①13845	80	47	利用サークルの高齢化や利用者ニーズが捉えきれていないことがあげられる。	評価者 山口まづくりセンター長 仲正之	サークル、他施設(ミュージズ等)共催事業を行なう等、利用率を上げる努力をした。					

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果			評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			環境影響					
			会計	投入コスト(千円)		活動実績(H28)	成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	有益なもの	有害なもの				
吾妻まづくりセンター	実施計画ランク	事業の種類	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	成果指標の目標値を達成はしているが、募集定員に達していない事業があるなど、事業の内容や周知方法など改善すべき点はある。また、予算の面から、講師謝礼の費用対効果をさらに考慮しながら事業を組み立てるよう努めていきたい。事業参加者に対するアンケートについては、アンケートを実施していない事業があるので、今後は実施するよう努めたい。また、アンケートで「やや不満」「不満など」と回答をいただいた意見を参考に事業内容を見直していきたい。	H28年度に改善した点	有	無				
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	2556	2,448	①主催事業数	参加者の満足度割合(%) 〔満足〕及び〔ある程度満足〕と回答を得た件数 ÷アンケート回答件数×100)	市民の学習要求に基づいた講座を展開し、生涯学習社会の構築を目指すことが当該事業の目的となっているため参加者の満足度割合を指標とする。目標値としては、前年より増やすことを目標としたい。	H28年度目標 96						H27実績 95			
	公民館主催事業	根拠法令	社会教育法、所沢市立公民館設置及び管理条例、所沢市まちづくり条例及び施行規則	H28予算現額	H28決算額(見込み)										②事業参加者に対する5段階評価アンケートの実施	H28年度目標 96	H28実績 99
		設置及び管理条例、所沢市立公民館設置及び管理条例施行規則、所沢市まちづくり条例及び施行規則	2360	2,099	③アンケート結果の分析												
		事業の目的及び具体的な内容	H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合	実績										H29年度目標 100		
市民の学習要求に基づき各種講座を展開し、市民の知識・教養の向上を図ると共に生涯学習社会の構築を目指す。職員の企画・立案、あるいは市民を交えた企画準備委員会等を設置し、事業内容を検討する。生涯学習情報紙等を利用して参加者を募集する。事業終了後は、学習の記録及び参加者の意見・感想を取りまとめ、次年度へ向けての検討材料とする。地域コミュニティ関連の事業を中心に講座、イベント等を開催する。	H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合	① 29件	② 725件	③ 715件												
期間	S30年度～	0.30人	0.00人	2,573千円	0.80人				評価者 センター長 比留間 嘉浩								
吾妻まづくりセンター	実施計画ランク	事業の種類	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		C	成果指標の目標値に達成するよう、貸し出し手続きの改善を図る。一方で、まもなく施設が閉鎖して30年が経過し、施設設備の経年劣化が起きていることから、計画的に修繕をしながら、利用しやすく、さらなる安全な環境を維持するよう努めていきたい。	H28年度に改善した点	有	無				
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	32,460	32,019	①年間利用可能区分数(公民館)	年間施設稼働率(公民館)(%) (年間延べ利用区分数÷年間利用可能区分数×100)	集団による学習活動の場として施設を提供することにより、生涯学習社会の構築を目指すことが当該事業の目的となっているため年間施設稼働率を指標とする。目標値としては、前年より増やすことを目標としたい。	H27年度目標 80						H27実績 52			
	公民館施設提供事業	根拠法令	社会教育法、所沢市立公民館設置及び管理条例、所沢市まちづくり条例及び施行規則	H28予算現額	H28決算額(見込み)										②年間利用区分数(公民館)	H28年度目標 80	H28実績 50
		設置及び管理条例、所沢市立公民館設置及び管理条例施行規則、所沢市まちづくり条例及び施行規則	32,200	30,524	③												
		事業の目的及び具体的な内容	H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合	実績										H29年度目標 80		
集団による学習活動の場として施設を提供することにより、市民の知識・教養の向上を図り、生涯学習社会の構築を目指す。施設の利用申請は、平成11年度からは、公共施設案内・予約システムを導入し、ロビー端末機等による予約手続きが可能となり、平成18年、25年と予約システムを更新し、インターネットの利用も可能となっている。利用予約の際は、特定の団体の独占を回避し、市民の利用拡大を図るため、一定の利用制限(時間制限)を設けている。	H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合	① 35,488回	② 17,645回	③												
期間	S46年度～	0.60人	0.00人	5,145千円	3.30人				評価者 センター長 比留間 嘉浩								
柳瀬まづくりセンター	実施計画ランク	事業の種類	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	前年度に対し実績が向上したことについては、事業内容の見直しを行い、参加者の満足度が高い事業を実施することができた。	H28年度に改善した点	有	無				
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	3,558	2,991	①主催事業	参加者の満足割合	事業参加者の満足割合から、實際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種事業を、企画・立案し開催できているか、推し量るもの。	H27年度目標 100						H27実績 96			
	公民館主催事業	根拠法令	社会教育法、所沢市立公民館設置及び管理条例、所沢市立公民館設置及び管理条例施行規則	H28予算現額	H28決算額(見込み)										②事業参加者に対する5段階評価アンケートに実施	H28年度目標 100	H28実績 99
		設置及び管理条例、所沢市立公民館設置及び管理条例施行規則	3,219	2,915	③アンケート結果の分析												
		事業の目的及び具体的な内容	H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合	実績										H29年度目標 100		
①職員による事業の企画・立案、あるいは市民・公民館利用団体を交えた企画準備会または実行委員会により、事業の企画・立案、運営方法等を検討する。 ②生涯学習情報紙及び公民館だより、チラシ等を利用して参加者を募集する。 ③事業終了後は、学習の記録や参加者の意見・感想等をまとめ、次年度の検討材料とする。	H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合	①年間事業数 27	②アンケート回答件数 166	③「満足」及び「ある程度満足」と回答を得た件数 163												
期間	S46年度～	0.91人	0.70人	7,803千円	0.60人				評価者 柳瀬まづくりセンター長 鈴木 明彦								
柳瀬まづくりセンター	実施計画ランク	事業の種類	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	施設用品が傷み、修繕・買い替えが必要な箇所があり、引き続き利用者に安全で快適に施設を利用してもらうため、最低限現状どりの予算の確保が必要である。	H28年度に改善した点	無	無				
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	28,428	24,927	①年間利用可能区分数(公民館)	年間施設稼働率(公民館)	前年度実績をもとに、集団による各種学習の場として適切な施設提供を行い、より多くの地域住民が学習の場として利用できるよう、目標を設定する。	H27年度目標 40						H27実績 35			
	公民館施設提供事業	根拠法令	社会教育法、所沢市立公民館設置及び管理条例、所沢市立公民館設置及び管理条例施行規則	H28予算現額	H28決算額(見込み)										②年間利用区分数(公民館)	H28年度目標 40	H28実績 33
		設置及び管理条例、所沢市立公民館設置及び管理条例施行規則	27,947	25,667	③年間利用区分数(地区体育館)												
		事業の目的及び具体的な内容	H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合	実績										H29年度目標 40		
集団による各種学習の場として施設を提供することによって、住民の知識・教養の向上を図り、生涯学習の構築を目指す。	H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合	①13,571	②4,429	③3,375												
期間	S46～	0.60人	0.30人	5,145千円	2.70人				評価者 柳瀬まづくりセンター長 鈴木 明彦								

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果			評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			環境影響	
			会計	投入コスト(千円)		活動実績(H28)	成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	有益なもの	有害なもの
三ヶ島まちづくりセンター	実施計画ランク	事業の種類	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	主催事業のなかに、地域の特性や人材を活かした事業(箸・うどんづくり、竹でっぼうづくり、苔玉づくり等)を開催することによって、世代間交流が図られている。	H28年度に改善した点	有	無
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	4,264	4,017	①実施事業数	参加者の満足度割合	主催事業に対する参加者の満足度の向上を図る。				主催事業の一部に、アンケート結果を踏まえた内容に変更したことにより、受講者から概ね好評を得ることが出来た。		
	公民館主催事業	根拠法令 社会教育法、所沢市立公民館設置及び管理条例、所沢市立公民館設置及び管理規則	H28予算現額	H28決算額(見込み)	②アンケート実施件数		H27年度目標	H27実績			H28目標値が未達成の理由・分析		
		事業の目的及び具体的な内容	3,817	3,666	③満足及びある程度満足と回答を得た件数及びその割合	H28実績	H28目標値が未達成の理由・分析				今後、地域住民が参画した事業の実施と地域の人材育成に繋がる事業企画を作っていく。		
		市民の学習要望に基づき、地域特徴等を生かした主催事業を開催し、地域住民の生活・文化・芸術・社会福祉等の向上及び推進を図る。	H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合	実績	100%	87%	目標値に近い状況ではあるが、参加者の声に耳を傾けていく必要がある。			評価者		
		①職員による事業の企画・立案あるいは市民を交えた企画準備会等により、事業の企画・立案・運営を行う。②事業終了後の学習の記録や参加者の意見、感想等は次年度講座の参考とする。③生涯学習情報紙及び公民館だより・チラシ等を活用して参加者を募集する。④各団体や公共施設からの情報を提供する。	0.90人	0.50人	①29事業	H28年度目標	H28実績						
期間	S30年度～		7,794千円	臨時職員	1.25人	100%	85%	三ヶ島まちづくりセンター長 森澤 宣行					
三ヶ島まちづくりセンター	実施計画ランク	事業の種類	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	築20年以上が経過し、施設の老朽化が著しいため、不具合が生じた場合は、早期の修繕に努めている。	H28年度に改善した点	有	無
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	25,141	28,766	①年間利用可能区分数(公民館)	年間施設稼働率	登録サークル等の増加を図るため、利用しやすい施設づくりを図る。				陶芸用電気釜の修繕を行い、利用しているサークルが引き続き利用できるようにした。		
	公民館施設提供事業	根拠法令 社会教育法、所沢市立公民館設置及び管理条例、所沢市立公民館設置及び管理規則	H28予算現額	H28決算額(見込み)	②年間利用区分数(公民館)		H27年度目標	H27実績			H28目標値が未達成の理由・分析		
		事業の目的及び具体的な内容	26,392	19,497	③年間利用区分数(体育館)	H28実績	H28目標値が未達成の理由・分析				利用しやすい施設の整備に努めるとともに、高齢者も利用しやすい施設環境の整備と利用を促す周知をより一層図る必要がある。		
		サークル等による各種学習活動の場として、施設を提供することにより、住民の知識・教養の向上と会員相互の親睦を図る。	H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合	実績	80%	44%	地域の高齢化が著しく、郊外に立地していること等が影響している。			評価者		
		①施設の点検管理と施設の提供・受入準備。②施設利用時の使用料及び鍵・備品等の対応。③利用者の公共施設予約システム入力の手続補助。④作品発表等の場としての公民館ロビーの提供。	0.90人	0.50人	①13,796区分	H28年度目標	H28実績						
期間	S48年度～		7,794千円	臨時職員	1.75人	80%	45%	三ヶ島まちづくりセンター長 森澤 宣行					
新所沢まちづくりセンター	実施計画ランク	事業の種類	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	マタニティカフェ・ババースクールなど、日常公民館利用率が低い(就労)世代向け講座から、未就学児・小学生と公民館利用サークルとの交流まで、幅広い世代に向けた事業展開ができています。また、フェイスブックや、しんとこ情報館などの媒体を有効活用し、公民館主催事業について、地域への情報発信していくことができた。	H28年度に改善した点	有	無
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	3,810	3,602	①年間事業数(回数)	参加者の満足度割合(「満足度」及び「ある程度満足」の回答を得た件数×100)	全ての講座で参加者の満足度を上げることを目標としたい。				公民館利用者との共催で、様々な学習文化活動の体験会を実施することができた。		
	公民館主催事業	根拠法令 社会教育法・所沢市立公民館設置及び管理条例・所沢市立公民館設置及び管理条例施行規則・所沢市地区体育館条例	H28予算現額	H28決算額(見込み)	②事業参加者数(延べ人数)		H27年度目標	H27実績			H28目標値が未達成の理由・分析		
		事業の目的及び具体的な内容	3,954	3,751	実績	100%	89%	H28目標値が未達成の理由・分析			地域内の各種公的機関が、それぞれ新所沢地区に向けてどのような学習機会を提供しているかを見定め、重複する領域、不足している領域について整理し、事業の再構成を進めていく。		
		地域課題と市民の学習要求に基づき、教育の向上、健康の促進、生活文化の振興、社会福祉の増進を図るため、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を実施する。	H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合	①158	90%	91%	目標達成済み			評価者		
			1.10人	0.50人	②11,279	H28年度目標	H28実績						
期間	S47年度～		9,526千円	臨時職員	1.05人	92%		センター長 澤田 孝男					
新所沢まちづくりセンター	実施計画ランク	事業の種類	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	施設の有効活用に向け、改善はされている。目標は達成されているが、引き続き地域団体の活動を支援していくべく施設の有効活用に努めてもらいたい。	H28年度に改善した点	無	無
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	27,519	28,508	①公民館年間利用可能区分数	年間施設稼働率(年間利用区分数÷年間利用可能区分数×100)	地域の自主的かつ非営利的に活動する地域の団体を支援するとともに施設の有効活用を進める。目標値としては、前年より増やすことを目標としたい。				団体登録の届出書式を簡素化し記入し易くするとともに、登録可否の判断要素を明確化したことにより、団体登録手続きの事務の迅速化を図った。		
	公民館施設提供事業	根拠法令 社会教育法・所沢市立公民館設置及び管理条例・所沢市立公民館設置及び管理条例施行規則・所沢市地区体育館条例	H28予算現額	H28決算額(見込み)	②公民館年間利用区分数		H27年度目標	H27実績			H28目標値が未達成の理由・分析		
		事業の目的及び具体的な内容	28,728	29,502	実績	65	59	H28目標値が未達成の理由・分析			施設提供にあたっては、事故のないよう施設の安全安全に努める。また地域の自主的かつ非営利的に活動する地域団体の活動を支援するとともに、さらに施設の有効な活用を図るため、貸し出し手続き事務の改善を考えていく。		
		集団による各種学習文化活動の場を提供し、住民の学び合い・支え合い・学習成果の地域還元を促進し、地縁と知縁による地域コミュニティを豊かにすること。そのような活動をする公民館登録団体を育成すること。	H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合	①25,692	H28年度目標	H28実績	目標達成済み			評価者		
			1.20人	0.50人	②17,029	H29年度目標	H29実績						
期間	S47年度～		10,392千円	臨時職員	1.95人	66		センター長 澤田 孝男					
			1,45人	0.50人		68							
			12,434千円	臨時職員	1.95人								

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			環境影響	
			会計	投入コスト(千円)		活動実績(H28)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	有益なもの	有害なもの	
所沢まちづくりセンター	実施計画ランク	事業の種類	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	年間を通して、土日に多くの催事が実施され、円滑にホール運営、安全管理業務が実施された。また、災害時の安全管理面の強化を目的に、市内施設で初めてとなる避難訓練コンサートを当事業の受託先であるNPO法人シアターサボが中心となって実施した。	H28年度に改善した点	無	無		
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	800	778	①土、日曜日の催事にかかる委託日数	委託依頼割合 (土、日曜日の委託日数÷土、日曜日の日数×100)	ホールが多様な市民の催事に活用され安全に利用されることが目標であるため、委託依頼割合を指標とする。一方、中央公民館の登録団体がホールでのサークル活動も行えるよう、すべての土、日に催事が入ることの無いように配慮もしている。								
	中央公民館ホール運営委託事業	根拠法令	H28予算現額	H28決算額(見込み)	②		H27年度目標	H27実績			H28目標値が未達成の理由・分析				
		社会教育法、所沢市立公民館設置及び管理条例	1,113	1,080	③		H28年度目標	H28実績							
		事業の目的及び具体的な内容	H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合	実績		H29年度目標								
期間	H27年度～	当公民館ホールは、座席数350席を有し、充実した舞台設備と中心市街地に立地する特性から、週末を中心にコンサート等の催事の利用が多い。このため、ホールの安全管理に支障を来すことが無いように土・日曜日のホール運営について業務委託を行うものである。なお、委託先は、開館当初からホールの舞台操作にボランティアとして活動している市民が構成員となっているNPO法人シアターサボである。	0.25人	0.80人	①74日	75	73	目標達成済み	評価者	所沢まちづくりセンター長 内堀 耕介					
並木まちづくりセンター	実施計画ランク	事業の種類	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	成果指標の目標値をほぼ達成している。講座の受講率でも高い割合を維持している。	H28年度に改善した点	有	無		
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	4,562	4,645	①年間事業数	左記アンケートで「満足及びある程度満足」と回答した割合(%)	「満足及びある程度満足」と回答した数÷アンケート回答数×100								
	公民館主催事業	根拠法令	H28予算現額	H28決算額(見込み)	②講座終了後のアンケート回答数		H27年度目標	H27実績			H28目標値が未達成の理由・分析				
		社会教育法、所沢市立公民館設置及び管理条例施行規則	5,128	4,833	③アンケート結果で「満足及びある程度満足」と回答を得た件数		H28年度目標	H28実績							
		事業の目的及び具体的な内容	H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合	実績		H29年度目標								
期間	S58年度～	市民の学習要求に基づき、各種学習、講座を展開することにより、市民の学習意欲の向上、社会教育の推進及び住民自治の醸成を図る。生活課題、地域課題、生活を豊かにする学習等について、系統だった学習内容、方法を職員により企画立案、あるいは市民を交えた企画準備委員会、実行委員会等を設置して事業内容を検討。広報や市ホームページ等の掲載及び公民館だよりを発行して参加者を募集し実施する。	1.15人	2.00人	①17講座	99	97	受講してみないと講座の水準がわからないため、受講者と講座内容のレベルの差を予め把握することが困難である。	評価者	並木まちづくりセンター長 阿部美和子					
並木まちづくりセンター	実施計画ランク	事業の種類	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	目標値を下回っているもの、利用実績に大幅な減少が見られないため。	H28年度に改善した点	無	無		
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	21,360	18,289	①年間利用可能区分数(1日6区分(月曜日は4区分)×部屋数×開館日数)	年間施設稼働率(%)	年間延べ利用区分数÷年間利用区分数×100								
	公民館施設提供事業	根拠法令	H28予算現額	H28決算額(見込み)	②年間延べ利用区分数		H27年度目標	H27実績			H28目標値が未達成の理由・分析				
		社会教育法、所沢市立公民館設置及び管理条例施行規則	23,376	18,012	③		H28年度目標	H28実績							
		事業の目的及び具体的な内容	H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合	実績		H29年度目標								
期間	S58年度～	集団(サークル)による各種学習の場として施設を提供することによって、住民の学習意欲の向上と社会教育の推進を図り住民自治の構築を目指す。施設利用申請にあたっては窓口申請以外にも、平成11年度からは公共施設案内・予約システムを導入し、ロビー端末やインターネットによる利用予約手続きが可能になっている。さらに25年度において予約システムを再構築し、携帯電話への対応など、迅速化、効率化を図った。	0.85人	1.00人	①17,628回	75	39	部屋ごとに使用目的の制約(部屋の広さ、設備等)があるため、均等な部屋の利用は困難である。施設の老朽化、交通の利便性の悪さ、駐車場の少なさも要因の一部にある。	評価者	並木まちづくりセンター長 阿部美和子					
社会教育課	実施計画ランク	事業の種類	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		S	社会教育に携わる職員のスキルアップや資質向上を図る機会として、研修内容を充実させることができた。今後も、社会教育に携わる職員1人ひとりが、市民の高度な要求や期待に応えられるよう、今後も継続して実施する必要がある。	H28年度に改善した点	無	無		
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	30千円	30千円	①参加者数	アンケートの満足度	研修内容に関して「とても良かった」「良かった」の割合								
	社会教育職員研修	根拠法令	H28予算現額	H28決算額(見込み)	②		H27年度目標	H27実績			H28目標値が未達成の理由・分析				
		社会教育法、地方教育行政の組織及び運営に関する法律、地方公務員法	30千円	15千円	③		H28年度目標	H28実績							
		事業の目的及び具体的な内容	H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合	実績		H29年度目標								
期間	平成7年度～	社会教育の課題となるテーマや社会教育関係職員に必要とされる専門知識や技能等を身につけ、職員の資質向上を図る研修とする。講義形式だけでなく、グループワークや体験実習等も取り入れる。	0.10人	0.00人	①12人	90%	100%	目標達成済み	評価者	社会教育課長 安田 幸雄					

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果			評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			環境影響	
			会計	投入コスト(千円)		活動実績(H28)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	有益なもの
所沢図書館	実施計画ランク	事業の種類	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	目標はほぼ達成できており、達成できなかった理由については、明確に把握できている。多様な課題を解決するため、幅広く質の高い資料等の収集・整備を行っている。また、一定期間を経過した資料については、資料の新鮮度を保つため除籍し、学校等公共機関及び市民の方へのリサイクル図書として提供を行っている。	H28年度に改善した点	無	無
	優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	78,810千円	76,026千円	①蔵書数(図書・雑誌・紙芝居・視聴覚資料)	資料回転率(年間貸出数÷蔵書数(貸出禁止資料除く))	幅広く質の高い資料等の収集・整備を行い、利用者に提供するという目的が実現できているかを図る数値として、資料の回転率を指標とした。人口規模が同一の市立図書館で、資料回転率が平均「2」であることから、目標値を「2」に設定した。(『日本の図書館』より全国平均を算出)						
	図書資料等収集整備事業	根拠法令	H28予算現額	H28決算額(見込み)	②年間資料受入数	実績	H27年度目標	H27実績					
		図書館法、所沢市立所沢図書館設置条例、同施行規則	77,097千円	74,674千円	③年間除籍数		H28年度目標	H28実績					
		事業の目的及び具体的な内容	H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合	①1,014,329点		H29年度目標	図書等取次サービスを実施しているコンビニエンスストアが、店内改装等取次店舗側の事情による取次業務停止により、年度当初より1店舗減となったこと、また、狭山ヶ丘分館が施設改修工事のため1か月間臨時休館したことなどから、年間貸出数が減少したため。					
		市民の調査研究、教養、レクリエーション等に資する図書資料、情報の収集を行い、利用者に提供することを目的とする。具体的には以下の通り。 ①資料収集 資料収集方針に基づき蔵書構成を考慮し、資料を選択収集する。②資料保存 残すべき資料を選び、次の世代・時代に受け継いでいく。③資料管理 電算システムにより、管理を行なう。④資料整理 資料に書誌(分類・書名・著者・金額等)データを付与し、フィルムコーティング等の装置を行う。⑤資料除籍 除籍資料は、幼稚園・小中学校等公共施設及び市民にリサイクルする。	H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合	②36,439点		2						
期間	昭和39年～	H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合	③19,166点	2								
		55,944千円	0.00人										
		6.30人	0.00人										
		54,023千円	0.00人										
所沢図書館	実施計画ランク	事業の種類	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	店舗側の事情により取次停止となった店舗があったため、全体の実績は減となったが、3店舗では貸出数が増加している。今後も非来館型サービスの中核として、サービスポイントの拡充、広報等の充実に努め、更なる利用拡大を図る。	H28年度に改善した点	無	無
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	9,914千円	8,420千円	①年間貸出利用者数	年間貸出数	市民が、コンビニエンスストア図書等取次サービスを活用していることを示す数値として年間貸出数を指標とする。過去5年間で利用が活発であった年度の数値を目標とし、事業の拡大を図りたい。						
	コンビニエンスストア図書等取次事業	根拠法令	H28予算現額	H28決算額(見込み)	②年間貸出数	実績	H27年度目標	H27実績					
		図書館法、所沢市立所沢図書館設置条例、同施行規則	9,537千円	8,208千円	①50,222人		H28年度目標	H28実績					
		事業の目的及び具体的な内容	H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合	②68,443点		H29年度目標	店内改装等取次店舗側の事情による取次業務停止により、年度当初7店舗だった取次店舗数が1店舗減となったため。					
		図書館の開館時間内の利用や来館が困難な市民等に対し、コンビニエンスストアで図書等の取次を行い、図書館利用の拡大を図る。インターネット、図書館窓口、館内OPAC等から図書等の予約を受け付け、用意できた際に、電子メール又は電話にて連絡し、貸出処理をして取次店へ配送。利用者は、当該予約図書等を取次店で受取・返却できる。	H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合			85,000点						
期間	平成17年～	H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合		83,000点								
		0.64人	0.00人										
		5,542千円	3.75人										
		0.76人	0.00人										
		6,517千円	3.75人										
所沢図書館	実施計画ランク	事業の種類	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	目標値をほぼ達成しており、H28年度は乳幼児とその保護者、学校等を中心に周辺機関との連携と利用拡大をすすめた。今後も所沢市第2次子どもの読書活動推進計画のさらなる推進に向けて努めていきたい。	H28年度に改善した点	無	無
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	2,333千円	2,329千円	①子ども向け行事参加者数	児童資料貸出数(年間児童資料貸出数)	過去5年間で最も高い平成24年の貸出実績が511,624冊であったことから、この数値を目標とし、サービスの維持・向上を図る。						
	子どもの読書活動推進事業	根拠法令	H28予算現額	H28決算額(見込み)	②学校関連団体貸出数	実績	H27年度目標	H27実績					
		図書館法、所沢市立所沢図書館設置条例、同施行規則	2,333千円	2,116千円	①15,876人		H28年度目標	H28実績					
		事業の目的及び具体的な内容	H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合	②22,658冊		H29年度目標	平成28年度は狭山ヶ丘分館が施設改修工事のため約1ヶ月の臨時休館をしたこと、学校団体貸出が前年度より減少したことが要因であると考えられる。					
		子ども達が読書の楽しみを知り、自主的に読書活動を行うことができるよう、「第2次所沢市子どもの読書活動推進計画」に基づいて子ども向け事業、学校との連携事業等を実施し、利用の拡大を図る。①子どもの読書活動推進連絡会の開催②おはなし会・かがくあそび等子ども向け行事の開催③一般向け普及・啓発事業の開催④学校との連携事業の実施⑤小中学生・保護者に読書アンケートの実施⑥学校業務連絡便の運行⑦ブックリスト「本がいっぱい」の発行、小中学校への配布⑧子ども向け広報紙の発行	H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合			512,000冊						
期間	昭和39年～	H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合		512,000冊								
		1.55人	0.80人										
		13,423千円	2.40人										
		1.89人	0.80人										
		16,207千円	2.40人										
所沢図書館	実施計画ランク	事業の種類	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	目標値は、ほぼ達成しており、魅力ある事業の展開、広報活動への積極的な取り組みや、地域との連携、市民協力の「図書館まつり」などを開催し、図書館への興味・関心の喚起に努めた。	H28年度に改善した点	無	無
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	11,432千円	11,293千円	①登録者総数(前年の登録者総数+年間登録者数-年間抹消者数)	貸出密度(人口1人当たりの貸出数)	図書資料等の貸出は、市民に活発に利用されていることを示す指標の一つであることから、貸出密度を指標とする。年間貸出数を当該年度の人口で割り、1人当たりの貸出数を算出。人口30万人以上、40万人未満の市立図書館18館の人口1人当たりの平均貸出数5.1冊を参考に、実績から目標値を設定し、事業拡大を図りたい。(『日本の図書館』2016より平均貸出数を算出)						
	図書館利用推進事業	根拠法令	H28予算現額	H28決算額(見込み)	②年間貸出利用者数	実績	H27年度目標	H27実績					
		図書館法、所沢市立所沢図書館設置条例、同施行規則	11,563千円	10,729千円	③年間貸出数		H28年度目標	H28実績					
		事業の目的及び具体的な内容	H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合	①113,988人		H29年度目標	図書館の開館時間内の利用や来館が困難な市民等に対して実施している、コンビニエンスストア図書等取次事業において、取次店舗側の事情により取次業務を停止した店舗があり、また、狭山ヶ丘分館が施設改修工事のため1か月間臨時休館したことなどから、年間貸出数が減少したため。					
		市民に、図書館に親しみをもって有効に利用してもらうため、インターネット及び広報等で情報を広く提供し、読書活動の推進及び利用の拡大を図る。①図書館のホームページ、「今月の図書館」等広報紙を発行し、図書館の事業や利用案内等の情報を利用者に周知する。②講演・講座、図書館まつり(年1回)等の催しを開催する。③季節やテーマに応じた、図書資料の紹介・展示を行う。④他の公共施設や地域に対し共同事業等を実施し、連携を図る。	H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合	②575,524人		5点						
期間	昭和39年～	H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合	③1,676,823点	5点								
		4.90人	0.20人										
		42,434千円	5.70人										
		4.34人	0.20人										
		37,216千円	5.70人										

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			環境影響		
			会計	投入コスト(千円)		活動実績(H28)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	有益なもの	有害なもの		
所沢図書館	実施計画ランク	事業の種類	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	老朽化した施設の保守や修繕を計画的に行っており、来館者が安全かつ快適に利用できる環境を維持している。	H28年度に改善した点	無	無			
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	27,962千円	26244千円	①設備等の保守 ②設備等の保守委託料	施設維持に関する修繕件数	H27年度目標 H27実績 10件 8件 H28年度目標 H28実績 8件 11件 H29年度目標 H29実績 10件				目標達成の理由・分析			<p>所沢図書館外壁雨漏り修繕を行い、施設の延命化を図った。また、館内照明器具の交換や吹き抜け照明ランプ交換の修繕を行い、利用者の安全確保を図った。</p> <p>事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み</p> <p>保守点検については、日常的施設点検及び計画的施設修繕を行い、効率化を図る。また、点検による修繕箇所の早期発見・部分的な修繕の対応により、限られた修繕経費を抑える。</p>		
	根拠法令	H28予算現額	H28決算額(見込み)	H27正規職員人件費							H27その他職員従事割合				実績	H28目標値が未達成の理由・分析
	図書館法、所沢市立所沢図書館世知条例、同施行規則	26,426千円	25,677千円	1.84人							0.00人					H28目標値が未達成の理由・分析
	事業の目的及び具体的内容	H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合	15,934千円							0.00人					①12件 ②21,468千円
期間	昭和55年～	図書館利用者にとって、安全で快適に利用できる施設環境を確保するとともに、図書資料等を適切に管理し利用できる施設を維持すること。	H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合	1.52人	0.00人	13,034千円	臨時職員	0.00人	評価者	所沢図書館館長 中村 まさみ					
所沢図書館	実施計画ランク	事業の種類	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	目標値はほぼ達成できており、各分館の地域特性を生かした様々な自主事業を展開し、来館者を増やす努力をしている。また、市民からも好評を得ている。	H28年度に改善した点	無	無			
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	283,498千円	282,944千円	①貸出利用者数(分館のみ) ②貸出数(分館のみ)	分館での年間来館者数	H27年度目標 H27実績 900,000人 899,541人 H28年度目標 H28実績 900,000人 858,435人 H29年度目標 H29実績 900,000人				目標達成の理由・分析			<p>安定した図書館サービスを提供するため、平成24年度から開始した指定管理者制度の継続に向け、平成29年度から5年間2期目の指定管理者の選定事務を行った。</p> <p>図書館分館全館において、運営及び指定管理状況等について本館職員による定期的なモニタリングを実施し、点検・評価を行い、良質な図書館サービスを継続して提供できるよう努める。</p>		
	根拠法令	H28予算現額	H28決算額(見込み)	H27正規職員人件費							H27その他職員従事割合				実績	H28目標値が未達成の理由・分析
	図書館法、所沢市立所沢図書館設置条例、同施行規則	284,769千円	282,934千円	1.94人							0.00人					H28目標値が未達成の理由・分析
	事業の目的及び具体的内容	H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合	16,800千円							0.00人					①401,427人 ②1,251,471点
期間	平成24年度～	市民サービスの向上、指導管理の一元化、経費の節減を図る。7館すべての分館において祝日開館とし、平日、所沢分館は19時、新所沢分館は21時までの開館により、利用者の利便性向上を図る。地方自治法第244条に定める公の施設として、所沢市立所沢図書館設置条例及び同施行規則の規定に基づき、市立図書館としてのサービスの提供等を行う。図書館における管理運営業務、施設維持管理業務。	H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合	2.10人	0.00人	18,008千円	臨時職員	0.00人	評価者	所沢図書館長 中村 まさみ					
所沢図書館	実施計画ランク	事業の種類	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	インターネット検索が手軽にできる現代において、レファレンス件数が増えていることは、インターネットでは得られない情報が図書館であれば得られるということについて、認知されることと思われる。国立国会図書館レファレンス協同データベースへの掲載を積極的に進め、国立国会図書館より、一定の基準を満たし、評価(お礼状)を得ている。また、様々な状況にある来館者の負担が軽減できるよう努め、どなたにもご利用いただける図書館づくりに取り組んだ。	H28年度に改善した点	無	無			
		■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	61,647千円	58,230千円	①貸出数(本館での年間貸出数) ②予約受付件数(本館カウンターでの年間予約受付・取消件数) ③レファレンス件数(本館受付件数)	来館者数(本館)	H27年度目標 H27実績 400,000人 232,568人 H28年度目標 H28実績 400,000人 258,818人 H29年度目標 H29実績 300,000人				目標達成の理由・分析			<p>①調査・研究を目的とした図書館利用に対応するため、各種データベース情報等のレファレンス・ツールの充実・活用を図った。</p> <p>②利用者への課題解決支援サービスの周知を図るため、図書館HPにおいてレファレンス事例を公開するとともに、国立国会図書館レファレンス協同データベースへ積極的に掲載した。③本館2階フロアにおいて、お年寄りや小さな子供を連れた人に対して、本選の時に重い本を抱えずに済むようカートを導入した。</p> <p>事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み</p> <p>身近な生涯学習の拠点として、情報・資料等の充実を図り、その活用法を広く市民に発信する必要がある。職員の質の向上に努め、郷土に関することや専門性の高いレファレンスサービスの提供に努め、情報発信の場としての図書館の存在の周知に努めていく。</p>		
	根拠法令	H28予算現額	H28決算額(見込み)	H27正規職員人件費							H27その他職員従事割合				実績	H28目標値が未達成の理由・分析
	図書館法、所沢市立所沢図書館設置条例、同施行規則	59,385千円	56,786千円	6.67人							0.00人					H28目標値が未達成の理由・分析
	事業の目的及び具体的内容	H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合	57,762千円							20.15人					①348,605点 ②18,272件 ③685件
期間	昭和39年～	市民の教養と文化の発展のため、資料及び情報を提供する。①図書(一般書、児童書、雑誌、紙芝居、絵本)を個人・団体に対し、閲覧・貸出利用に供する。②CD、DVD及びビデオを個人に対し、貸出利用に供する。③図書館資料について十分な知識を持った職員が、問い合わせ・読書相談や利用のための相談に応じる。④視覚に障害のある方に対して対面朗読サービスや録音図書を提供する。	H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合	7.09人	0.00人	60,797千円	臨時職員	20.15人	評価者	所沢図書館長 中村まさみ					